

The Engaru Rotary Times 2026-2027 No.2

第 3113 回例会記録 日時:2026 年 7 月 9 日(木)12:30~ 会場:ホテルサンシャイン	本日のプログラム	次回のプログラム
	7 月 23 日(木)18:00~ 遠軽神社正式参拝 夜間例会	7 月 30 日(木)12:30~ 委員会担当例会 ～会員組織委員会～
山本倫生ガバナー地区スローガン 親睦から始まる持続可能な奉仕！～原点回帰・ロータリーを楽しんでいますか？～		
石井朋子会長テーマ “絆 さらに前へ進めよう”		

会長報告 石井会長

皆さんこんにちは。本日も例会に出席ありがとうございます。
今日は職業奉仕委員会担当の卓話となっています。
担当される方はのちほどよろしくお願いいたします。
会長報告ですが、私も職業奉仕についてクラブの歴史の中で
どの様な活動をしていたかを調べてみました。
職業奉仕はロータリー活動の基本(金看板)と言われています。

- ・道徳ルールを守る
- ・すべての仕事を大切にする
- ・仕事を通じて恩返しをする
- ・自分の仕事に誇りを持ち、社会のために一生懸命働くこと

当クラブも設立当初から現在まで

- ・四つのテストの唱和と理解
- ・新入学生への学用品の寄贈
- ・会社訪問 ・職業表彰 を続けています。

過去1980年代頃の職業奉仕委員会では遠軽自衛隊援護室(隊員のサポート、家族のフォローをしている部署:現在もある)に協力し企業が求める人材育成、企業の資料を作成し共に退職自衛官の就職に対して協力をしていたことが記述されています。また、高校生に対しても将来就職にあたり企業の資料を作成し提供し出前指導するなどしていたとのこと
です。専門的な知識人が多いロータリアンですので学生にとっては刺激になったのではないのでしょうか。現在も東京 RC、大阪西 RC でもイベントなどで医師・弁護士・税理士などの専門知識者が出前相談等を実施しているようです。
いずれにしても当クラブは奉仕の精神を続け地域貢献を続けてきております。

今後も時代は違っても継続事業を続けさらに前へ進んでいきたいと思います。本日の会長報告は以上です。



幹事報告 前島幹事

以下、回覧しています。

- ・商工会議所よりがんぼう夏まつりの協賛お礼文
- ・2025-26ガバナー事務所よりガバナー月信13号

また、2026-27年度の活動計画書に訂正があります。

- ・P6 山本倫生ガバナーの勤務先住所が釧路となっておりますが、正しくは〒078-8232旭川市豊岡2条4丁目4-14となります。
- ・P27 プログラムの回数が乱れています。
- ・P29 収支予算書に訂正があります。次回例会で正しい予算書を配布させていただきます。

今月のロータリーレートは1ドル162円です。

また、先週欠席をしましたので、改めて就任挨拶をさせていただきます。石井会長をサポートしながら、幹事の責任を果たすようスムーズなクラブ運営に努めてまいりますので、会員皆様のご協力をお願い致します。



委員会報告

- ・社会奉仕委員会(加藤委員長)

8月6日(木)は早朝例会でコスモス園の草取りを行います。また、

8月29日(土)の花火大会には家庭学校の生徒たちを招待しますので、

皆様のご出席とご協力をお願いします。



本日のプログラム

会員卓話 朝長職業奉仕委員長「職業奉仕とハラスメント防止～信頼される職場づくり～」

皆様、こんにちは。本日は「職業奉仕とハラスメント」についてお話しします。ハラスメントという言葉を知ると、「気を付けないといけない」「最近では厳しすぎる」という印象を持つ方もおられるかもしれませんが、本質は単なるコンプライアンスではありません。ロータリーが掲げる「職業奉仕」は、自らの職業を通じて社会に奉仕することです。そのためには、お客様だけではなく、社員、同僚、取引先からも信頼される職場づくりが欠かせません。今日はその視点で考えてみたいと思います。

【職業奉仕とは】

ロータリーでは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という理念があります。また四つのテスト「真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるか」を日々の仕事で実践することが職業奉仕です。ハラスメントは、この四つのテストすべてに反する行為と言えます。

【ハラスメントとは】

代表的なものには、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティ・育児介護ハラスメント、カスタマーハラスメントがあります。近年では SOGI ハラスメントやアルコールハラスメント、リモートハラスメントも問題となっています。重要なのは「悪意があったか」ではなく、「相手が安心して働ける環境であったか」という視点です。アルコールハラスメントとは

① 飲めない人への配慮を欠くこと② 酔ったうえでの迷惑行為

【なぜ起こるのか】

原因は性格だけではなく、コミュニケーション不足、世代間ギャップ、忙しさ、権限の偏り、「昔はこうだった」という思い込みなどがあります。指導とハラスメントの違いは、相手の成長を目的としているか、人格を傷つけているかにあります。

① 例えば、以前は一般的だった「これくらい厳しく言わないと成長しない」という考え方も、現在では「それは本当に相手の成長を促す指導になっているのか」という視点から見直し、考える姿勢が求められている。

② 私の業界で昨年新聞沙汰になったカスハラを紹介

橋本総業（東京）が釧路扶桑物産に 1100 万円の損害賠償を求めた訴訟裁判

【ロータリアンとしてできること】

相手の話を最後まで聞く。感謝を言葉で伝える。人前では叱らない。困っている人に声をかける。相談しやすい職場づくりを心掛ける。こうした積み重ねが信頼される職場につながります。

【まとめ】

ハラスメント防止とは「怒らないこと」ではなく、相手の人格を尊重しながら必要な指導を行うことです。人を育て、地域から信頼される企業・職場を築くことが、職業奉仕の実践につながります。

ご清聴ありがとうございました。



■ニコニコ BOX

前年度：（出席 100%）山田会員、前島会員

（各委員長就任）朝長会員、植村会員、益井会員

（結婚記念日）奥山会員

（誕生日）益井会員

（無断欠席）山田会員



2026-27 年度累計 78,000 円

■出席報告

例会日	会員数	出席計算会員数	出席者数	メイクアップ	出席率	無断欠席
7/9	47	46	29		63.1%	0

■編集・発行：メディア委員会

委員長：木村一則 副委員長：本間克明

委員：加藤幸徳、河原英男、佐藤健治、佐藤好生

朝長賢一、長嶋宏明、福家 貢